資料4

平成31年度保護林モニタリング調査箇所一覧（案）

:必須項目

資料：文献、調査簿、既存の調査データから　概況：チェックシート、ライン調査等　詳細：プロット調査

N	計画区	保護林名称	保護林区分	番号	面積	現地調査プロット数	森林生態系多様性基礎調査プロット数（（）は現地調査プロットに含まれるもの）	実施間隔（年）	実施年度 2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 (1)	2020 (2)	2021 (3)	2022 (4)	2023 (5)	2024 (6)	2025 (7)	2026 (8)	2027 (9)	2028 (10)	2029 (11)	調査項目 森林タイプの分布等状況調査	樹種分布状況調査	樹木の生育状況調査	下層植生の生育状況調査	野生動物の生育状況調査	山火事・山腹崩壊・地すべり・噴火等の災害発生状況調査	病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況調査	論文等の発表状況調査	外来種駆除、民国連携の生物多様性保全に向けた事業・取組実績、巡視の実施状況	保護対象種・植物群落・動物種の生育・生息状況調査（希少個体群）	備考	モニタリング間隔5年の要素（要領第5-2）
1	奥久慈	ハ溝山シロヤシオ希少個体群保護林	希少	13	43.59	1		10				○					○										○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細			○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料	○ 資料・詳細		
2	那珂川	流石山・大峠ミヤマナラ希少個体群保護林	希少	37	97.31	11		10				○					○										○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細			○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料	○ 資料・詳細		
3		尚仁沢生物群集保護林	群集	5	616.34	4		10				○					○										○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細	○ 資料・概況		○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料			
4		那須街道アカマツ遺伝資源希少個体群保護林	希少	38	41.81	2	(1)	5				○					○					○					○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細			○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料	○ 資料・詳細	マツノザイセンチュウによる被害が発生しているエリアであり、被害の発生状況に留意しつつアカマツの生育状況に注視が必要な保護林。	ア
5		大佐飛山地生物群集保護林	群集	4	8,152.35	3	1	10				○					○										○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細	○ 資料・概況		○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料			
6	利根上流・中越	利根川源流部・燧ケ岳周辺森林生態系保護地域	生態	5	20,085.77	27		10				○					○										○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細	○ 資料・概況		○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料			
7	利根上流	武尊山シラカンバ遺伝資源希少個体群保護林	希少	45	8.60	2	(2)	5				○					○					○					○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細			○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料	○ 資料・詳細	シラカンバ林は遷移途中にあり、今後の群落構造変化等の推移を見ていく保護林。	ア、ウ
8		栗原川ウダイカンバ遺伝資源希少個体群保護林	希少	41	11.75	2	(2)	5				○					○					○					○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細			○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料	○ 資料・詳細	ウダイカンバ林は遷移途中にあり、今後の群落構造変化等の推移を見ていく保護林。	ア、ウ
9		玉原アスナロ希少個体群保護林	希少	43	5.73	1		10				○					○										○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細			○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料	○ 資料・詳細		
#		谷川岳サワグルミ遺伝資源希少個体群保護林	希少	42	8.28	2		10				○					○										○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細			○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料	○ 資料・詳細		
#		法師クロベ希少個体群保護林	希少	44	17.41	2		10				○					○										○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細			○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料	○ 資料・詳細		
#	多摩	高尾山モミ希少個体群保護林	希少	48	4.85	3	(2)	5				○					○					○					○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細			○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料	○ 資料・詳細	モミ老齢木の枯損が進行している区域があり、後継樹が無く常緑カシ類が優勢となっていることから今後の植生の変化を見ていく保護林。	キ
#	上越	蓮華ライチョウ希少個体群保護林	希少	63	974.82	14		10				○					○										○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細			○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料	○ 資料・詳細		
#		火打山周辺ライチョウ希少個体群保護林	希少	62	826.74	12		5				○					○					○					○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細			○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料	○ 資料・詳細	火打山周辺はライチョウ生息域の北限とされ、ライチョウの生息環境を維持するための保護林。近年の気候変動により植生の変化が報告されており、注視が必要な保護林。	カ
#		犬ヶ岳ホンシャクナゲ希少個体群保護林	希少	61	115.00	2		10				○					○										○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細			○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料	○ 資料・詳細		
#	富士	富士山生物群集保護林	群集	12	1,027.09	10	(3)	5				○					○					○					○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細	○ 資料・概況		○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料		シカの食害が顕著なエリアのため、保護林への影響に注視が必要な保護林。	オ
#		富士山塒塚ウラジロモミ希少個体群保護林	希少	65	4.84	1	(1)	5				○					○					○					○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細			○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料	○ 資料・詳細	シカの食害が顕著なエリアのため、保護林への影響に注視が必要な保護林。	オ
#		富士山六番低山帯希少個体群保護林	希少	66	6.17	2	(2)	5				○					○					○					○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細			○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料	○ 資料・詳細	シカの食害が顕著なエリアのため、保護林への影響に注視が必要な保護林。	オ
#		愛鷹山生物群集保護林	群集	11	570.17	3	(2)	5				○					○					○					○	○ 資料		○ 資料・詳細	○ 資料・詳細	○ 資料・概況		○ 資料・詳細	○ 資料	○ 資料		シカの食害が顕著なエリアのため、保護林への影響に注視が必要な保護林。	オ
		保護林　計	19	箇所																																			
1	下越中越	越後線	回廊	2	16,144.42		11	10	○								○										○	○ 資料		○ 資料	○ 資料	○ 資料		○ 資料		森林環境教育の場としての利用状況調査 資料	緑の回廊の普及啓発、巡視状況等 資料	
2	富士	富士山	回廊	9	2,119.35		1	10	○	○	○	○					○										○	○ 資料		○ 資料	○ 資料	○ 資料		○ 資料					
3	神奈川富士	丹沢	回廊	8	3,602.54	（新設2P）		10	○	○	○	○					○										○	○ 資料		○ 資料	○ 資料	○ 資料		○ 資料					
		緑の回廊　計	3	箇所																																			

【モニタリング間隔　5年の基準】
ア：遷移の途中段階にある保護林
イ：復元を行っている保護林
ウ：保護対象の個体群の持続性に問題がある保護林
エ：保護林外部からの影響を受けている保護林
オ：鳥獣・病害虫被害及び移入種による影響が顕著にある保護林
カ：温暖化による影響が顕著にある保護林
キ：その他、短期間で大きな変化が想定される保護林

保護林　19箇所
　生態系保護地域　1箇所
　生物群集保護林　4箇所
　希少個体群保護林　14箇所

緑の回廊　3箇所

モニタリング実施間隔
:10年　:5年